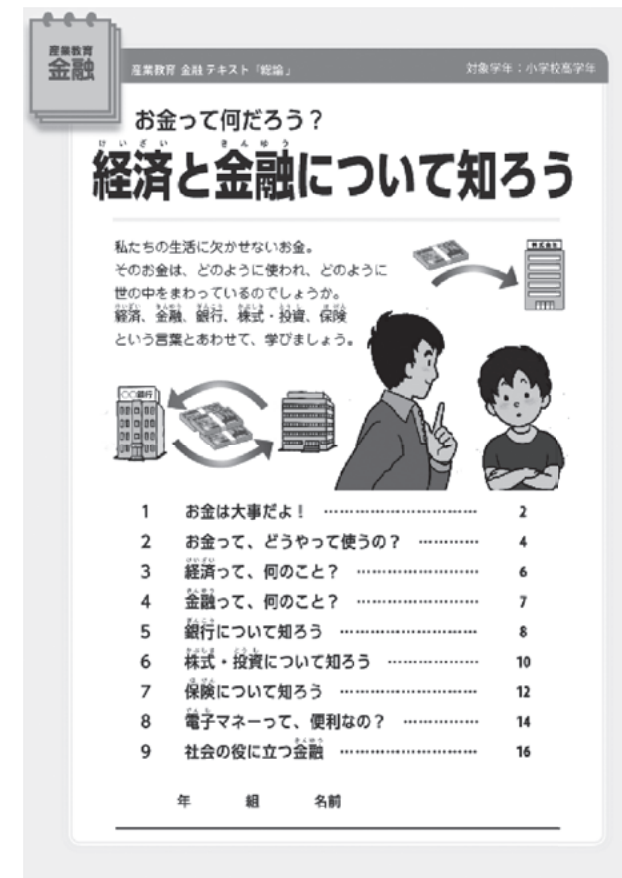


# お金って何だろう？

## 経済と金融について知ろう



1. 対象学年：小学校5・6年
2. ねらい：金融のシステムについて教え、関心をもたせる。
3. 進め方：テキストの通りに進める。テキストの発問を読み、子どもたちに答えさせていく。

主な発問・指示

1 お金は大事だよ！

小学生のヒロヤくんはおこづかいをもらいました。さあ、何を買おうかな？ お金はとても大事なものです。ヒロヤくんは、お金で何が買えるのかを考えてみました。

<問1>  
下の中から、お金で買える物の番号を○でかこみましょう。

お金で、世の中のたくさんの物を買うことができます。

<問2>  
ある人の1日の流れです。お金がかかる部分に赤で色をぬりましょう。その場合、どのようなことにお金がかかるかを書きましょう。

このように見ると、ほとんどの場面でお金を使っているんだね。

お金はちゃんと考えて使わないといけないう。お金の使い方についていっしょに考えてみよう。

2 お金って、どうやって使うの？

お金って、物を買えるだけじゃないの？  
お金には、物を買う（交換する）だけでなく、ほかにもできることがあるよ。

<問3>  
お金には3つの役割があります。合うもの同士を線でむすびましょう。

お金には、次の3つの役割があります  
① 交換 ② ためる ③ はかる

<問4>  
お金をどのようにしてもらったことがありますか。当てはまるものの（ ）に○をつけましょう。

指導上の留意点

- ・ 教師が問題文を読む。
- ・ ○をつけた番号を発表させる。
- ・ 同じ番号をつけた子は挙手させる。
- ・ □の中の文章を全員で読ませる。
- ・ 1分程したら、「①を囲んだ人？」等と聞いていき、挙手させる。

- ・ 教師が問題文を読む。
- ・ 食事の絵を例として取り上げる。
- ・ 残りについても同様に作業させる。
- ・ 1ヶ所書けたら持って来させる。
- ・ 黒板を7等分し、それぞれの欄に書いたことを板書させる。分からない子は発表を聞いて写させる。

- ・ 教師が問題文を読む。
- ・ 答えを確認させる。

- ・ できた子を指名して発表させ、3つの役割を確認させる。

- ・ 教師が問題文を読む。

- ・ 子どもたちができたら、「①に○をした人？」と1つずつ聞き、挙手させる。

主な発問・指示

小学生のみなさんは、お金をおうちの人からもらうことがほとんどですね。

おうちの人が働いてもらったお金です。大切に使ってください。

3 経済って、何のこと？

お金は社会の中を動きます。

<問5>  
下の図はあなたのまわりのお金の流れをあらわしています。お金の流れの矢印を赤でぬりましょう。

<問6>  
問5の流れを文でまとめます。文中のうすい文字をなぞりましょう。書いたら、声に出して読みましょう。

このように、お金と物とサービスが動くことを「経済」といいます。

4 金融って、何のこと？

お金の貸し借りを通じてお金が流れることを金融といいます。

<問7>  
お金と物の行き来を図に表したものです。①から③に入る言葉を下の□から選んで書きましょう。

「お金」の流れをスムーズにする手助けをしているのが「金融機関」です。

「○○は□□に～を行い、□□は○○に～を行う」  
例：「政府は企業に公共サービスを行い、企業は企業に税金をはらう」「政府は家計に公共サービスを行い、家計は政府に税金をはらう」など。

指導上の留意点

- ・ その他にないか、周りの友達と相談、発表させる。
- ・ 「その他」に書いた子に書いた内容を発表させる。

- ・ 早く塗れた子に、お金の流れの順に読ませていく。

- ・ 書けた子から読ませていく。最後に全員でも読ませる。

- ・ 教師が読み、子どもたちにも読ませる。
- ・ 「お金と物とサービスが動くことを何と言いますか？」と問い、指名して答えさせる。

- ・ 教師が読み、子どもたちにも読ませる。
- ・ 「お金の貸し借りを通じてお金が流れることを何と言いますか？」と問い、指名して答えさせる。

- ・ 書けた子を指名して発表させ、答え合わせをする。

- ・ 「『お金』の流れをスムーズにする手助けをしている所を何と言いますか？」と問い、指名して答えさせる。
- ・ 答えを確認した後、左の「フォーマットの言い方」で確認させる。

主な発問・指示

5 銀行について知ろう

ヒロヤは「銀行」に行ったことがあるよね。銀行に預あずけることで、預けたお金はどうなるのかな？

<問 8>

どんな人がお金を借りに来るのかな？ 番号に○をつけましょう。

-- 預けたお金はどうなるの？ --

銀行からお金を借りた人は、お金に利息をつけて銀行にお金を返します。銀行にお金を預けている人は、預金にその利息の一部を足してもらえます。

<問 9>

会社も銀行からお金を借ります。うすい文字をなぞって、お金の流れの矢印を赤でぬりましょう。

会社も銀行からお金を借りて事業を広げていくんだ。  
ヒロヤのお金も、お金を借りたいだれかのもとに流れていくんだよ。

《参考》

ほかにも、誰かや何かのために 信託銀行にお金などの財産を託して、財産を守ったり、増やしたり、社会に役立ててもらったりする「信託」というものもあります。

6 株式・投資について知ろう

ぼくのお金が会社の役に立つなら、ぼくの好きな会社がいいな。

自分の好きな会社を直接応援するやり方もあるよ。

応援したい会社の「株式」を買うことを その会社に投資するといいます。

<問 10>

下の図は株式会社のお金の流れを図にしたものです。正しい順番になるように、□に番号を書きましょう。

指導上の留意点

- ・ 教師が読み、子どもたちにも読ませる。
- ・ 周りの友達と相談、発表させる。

- ・ 大体の子ができたなら、「①に○をした人？」と1つずつ聞き、挙手させる。

- ・ 「銀行からお金を借りる」「利息」等は図のどの部分か、指を置かせて確認する。

- ・ できた子から図の中の言葉を読ませていく。全員終わったら、再度読ませる。

- ・ なぞり終わったり、色塗りができあがったりしたら「参考」を読むように指示をする。

- ・ 教師が読み、子どもたちにも読ませる。

- ・ 答えを確認した後、指名などして番号順に□の中の文章を読ませる。
- ・ ②をどちらに書いたのかを挙手させる。

主な発問・指示

どうやったら「株式」を買うことができるの？

「株式」は売りたい人からお金を出して買うことができるよ。「株式」の売り買いは「証券会社」にやってもらうんだ。

<問 11>

下の図は株式の売り買いの図です。株式の流れを青で、お金の流れを赤でなぞりましょう。

《参考》

どの会社の「株式」を買うか自分で選ぶのは大変だから、会社を選ぶプロの人がある「投資信託」の会社にたのんで投資するやり方もあります。

7 保険について知ろう

ほかにはどんな金融があるの？

あとは、自分にかかるリスクに備えて「生命保険」「損害保険」というものがあるよ。

あらかじめお金（保険料）を払っておけば、たとえば、お父さんが事故や病気でなくなってしまったり、ヒロヤが自転車に乗っていて事故にあったときなどに、お金（保険金）をもらうことで自分や家族を守ることができるんだ。これが「ほけん」というしくみだよ。

リスクとは、死亡や病気、災害や事故により損失が発生する可能性です。

<問 12>

リスクを大きく分けると次の5種類があります。上のイラストをヒントに□の中に書きましょう。

<問 13>

保険のしくみの図です。保険料をはらっている人たちを赤で、保険金をもらった人たちを青で囲みましょう。また、うすい文字をなぞりましょう。

集めた保険料の中から保険金が支払われます。  
この助け合いのしくみを相互扶助といいます。

自分や家族の病気、死亡などに備える…生命保険  
車による事故、自宅における火事などに備える…損害保険

指導上の留意点

- ・ 2人のセリフを教師が読み、子どもたちにも読ませる。

- ・ 図に目を向けさせるために、教師が言った絵に指を置かせる。その後作業をさせる。

- ・ なぞり終わったら、「参考」を読ませる。

- ・ 2人のセリフを教師が読み、子どもたちにも読ませる。あるいは3名指名し、役割に準じて吹き出しを読ませる。

- ・ 5つのリスクを声を出して読ませる。

- ・ 書いた物を発表させ、確認する。

- ・ 何を赤で囲んだか、青で囲んだかを発表させる。

- ・ なぞり終わった子からなぞった文章を読ませる。最後に全員で読ませる。
- ・ 枠内を教師が読み、子どもたちにも読ませる。読ませた後、「自分や家族の病気、死亡などに備える保険を何と言いますか？」と問い、答えさせる。損害保険も同様に扱う。

### 8 電マネーって、便利なの？

電子マネーってよく聞くけど、どんなものなの？

#### <問 14>

今は硬貨（10 円玉や 100 円玉など）やお札（1000 円札や 5000 円札など）を使わなくても、電子マネーで物を買うこともできます。どのようなカードがあるのでしょうか。知っているカードをたくさん書きましょう。

#### <問 15>

電子マネーの 1 つに S u i c a（スイカ）があります。S u i c a は電車やバスなどで使えるほか、電子マネーとしていろいろなところで使えます。どんなところで使われるのでしょうか。使えるところの絵を○でかこみましょう。

### 9 社会の役に立つ金融

ぼく、わたしを中心にお金の流れを考えてみましょう。

#### <問 16>

次の文章を読み、関係している金融機関を選んで線でつなぎましょう。

#### <問 17>

みんなの生活にどんな金融がどのように役に立っているか考えてみよう。

金融はほかにどんなことに役にたっているかな？

くわしく知りたいと思ったものに○をつけよう！

ほかに調べてみたいことがあったら書いてみよう！

- ・ 1 個書けた子から持って来させ、初出の意見を板書させていく。あまり思い浮かばない子の参考にさせる。
- ・ 黒板がうまったら発表させる。
- ・ 教師がカードを持っていたら提示することでヒントになる。

- ・ 「タクシーを丸で囲んだ人？」と 1 つずつ聞いていき、挙手させる。「たくさん場所で使えますね」と言う。

- ・ 絵の中の言葉を読み上げ、1 つ 1 つ指を置かせ、子どもたちの視線を集中させる。また、「このページを見て、わかったこと、気づいたこと、思ったこと」を言わせたり、空いている所に書かせたりして、絵をよく見るようにさせる。

- ・ 書けた子から発表させる。思い浮かばない子の参考にさせる。

- ・ どれに丸をつけたのか、発表させる。
- ・ 書いた物がある子に発表させる。

### 《指導にあたって》

- 問題文や説明の文は、適宜子どもたちに音読させる。その際、難語句があるので、教師が範読した後で子どもたちに読ませることが望ましい。
- 子どもたちの作業には時間差が生じる。そのために、次のような手立てをとり、時間差をうめるようにする。
  - ・ 早く終えた子に発表させる。
  - ・ 早く終えた子に読ませる。
  - ・ 早く終えた子に板書させる。
 また、発表させたり、板書させたりすることで、わからない子の参考にさせる。
- 答えを書かせたら、手を挙げさせたり、発表させたりして、確認をする。